

事業報告書

(令和 5 年度)

社会福祉法人生活・文化研究所

目 次

I.	中期3か年目標（ビジョン）に基づく取組み状況	1
II.	運営状況	3
	1. 実施事業	
	2. 地域における公益的な取り組み	
	3. 理事会・評議員会・監事監査会の開催状況	
	4. 施設整備・備品等の購入	
	5. 職員配置	
	6. 苦情受付状況	
III.	事業所報告	7
	1. 共同生活ホーム移山寮（共同生活援助）	
	2. 多機能型障害福祉サービス事業所移山寮（生活介護・就労継続支援B型）	
	3. 相談支援事業所移山寮（特定相談支援・障害児相談支援）	

I. 中期3か年目標（ビジョン）に基づく取り組み状況

中期経営計画（令和4年度～6年度）に基づく主な取り組み事項は以下のとおり。

<ビジョン1.経営に対する基本姿勢>

地域から信頼される安定的な経営マネジメントの実践

- 全員研修において、経営理念・方針等について全職員に周知した。
- 感染症の事業継続計画（BCP）は、5類への移行に伴い見直しを行い、全体研修で変更部分を全職員に周知することができた。グループホーム、相談支援の見直しも完了、備蓄の点検も2回できたので、今後は感染症対策マニュアルの整備に着手したい。
- 自然災害発生時の事業継続計画（BCP）を策定することができたが、防災教育・訓練等は実施できなかった。
- 非常災害対策計画の定期点検（チェックリスト）を2回行うことができた。
- 社会福祉関係法令はもとより、労働関連法等、様々な法令等への理解と遵守に努めており、各種研修会への参加、情報収集、専門家の活用、自主点検を行う等の取り組みを行った。
- 生産性向上を意識し、現状のシステムやIT環境の中で効率化を図っているものの、今後について具体的な話し合いはできなかった。
- サービスの自己点検、経営状況の分析は十分にできておらず、事業の将来性や継続性を見通した話し合いはまだ進んでいない。

<ビジョン2.支援に対する基本姿勢>

本人の満足・家族の安心を得る包括支援の取り組み

- 人権を尊重し個人の尊厳を守る姿勢について、倫理綱領や職員行動指針に明記し、全員研修において周知した。
- 利用者・家族に対し丁寧な説明を心掛けると共に傾聴に努め、研修を行い、意思決定支援の必要性を職員間で共有した。
- 虐待防止指針・身体拘束等適正化のための指針を公表し、研修会の実施やチェックリストによる行動の振り返り等の取り組みを行った他、虐待発生時に備えた対応マニュアルの見直し等を行った。
- 第三者委員による定期訪問や苦情解決制度周知ポスターの更新、苦情対応マニュアルの点検、見直し等に取り組み、苦情解決体制の強化を図った。
- 危険個所の見える化、注意を要する作業等は事前の注意喚起を行い、事故防止に継続して取り組んでいる。また、事故については情報を共有し、再発防止に努めた。
- 楽しみを感じられるような行事の開催、地域行事への参加を通じて、社会参画・交流の機会を設けた。
- 「なかま通信」を発行し、月毎の行事予定、行事や活動の様子を伝えることができた。

- 猛暑が続き、水分補給やこまめに休息をさせ、熱中症対策を行った（熱中症の発症者なし）。年々暑さが厳しくなっており、常時利用者がいる場所には、今まで以上の暑さ対策の検討が必要と思われる。
- 自然災害発生時の事業継続計画（BCP）を策定することができ、電話以外の連絡手段についての事前調査も行った。
- 利用者満足度調査を実施し、集計結果を全職員、利用者、家族等へ配布することができた。

<ビジョン 3. 地域社会に対する基本姿勢>

多様な地域ニーズと地域共生社会の推進

- しあわせネットワークの総合相談窓口を相談支援事業所が担っており、状況に応じて対応する体制ができているが、今のところ実績はない。
- 地域では、単身高齢者世帯や高齢者のみの世帯が増加しており、地域包括支援センターやご家族から、草取りやごみ捨て等の日常生活上の困りごとへの対応ができないかの相談が数件寄せられた。「五戸町高齢者等生活支援体制づくり協議会」において、地域課題や意見交換が行われ、関係機関と連携を図りながら、地域ニーズの把握及び当法人で担える役割について、さらに検討していきたい。
- 災害時の取り組みとして、地域の災害支援拠点や福祉避難所の取り組みへの備え等、地域住民の安全・安心な生活の確保が必要である。

<ビジョン 4. 福祉人材に対する基本姿勢>

福祉人材の育成・確保に向けた取り組みの強化

- 時間外労働の上限規制、有給休暇取得義務化、労働時間の客観的な把握、割増賃金率引上げ等、働き方改革については施行に合わせて順次対応を行った。
- 安全衛生方針、活動計画を策定し、職員の安全と健康の確保、快適な職場形成の推進に努めている。福祉施設において 50 歳以上を中心に転倒災害が多く発生している状況を受け、転倒予防・腰痛予防の啓発及び注意喚起を行った。
- 総合的な人材マネジメントシステムの構築に至っておらず、既存の人事評価や任用制度の効果的な運用に課題がある。採用に向けた積極的な取り組みも行えていない。
- 小中学校からの福祉体験学習の受け入れは毎年行っているものの、交流に留まっており、将来の福祉人材確保に結びつける視点からの取り組みには至っていない。
- 研修受講は積極的に行っているが、管理者や指導的職員のリーダー層の育成及びキャリア形成や自己実現の支援等も含めた育成システムの構築には至っていない。

II. 運営状況

1. 実施事業

<第二種社会福祉事業>

(1) 共同生活ホーム移山寮（事業所番号：0221200025）

サービス種類：指定共同生活援助（介護サービス包括型）

定 員：5名

適用年月日：H30.10.1～R6.9.30

(2) 多機能型障害福祉サービス事業所移山寮（事業所番号：0211200043）

サービス種類	指定生活介護	指定就労継続支援B型
定 員	10名	20名
適用年月日	H5.1.1～R10.12.31	R3.4.1～R9.3.31

(3) 相談支援事業所移山寮（事業所番号：0231200056（者）／0271200065（児））

サービス種類：指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業

適用年月日：R2.4.1～R8.3.31

<第二種社会福祉事業以外の事業>

(4) 生活困窮者就労訓練事業（事業所番号：0200000022）

定 員：8名

2. 地域における公益的な取り組み

(1) 生活困窮者就労訓練事業

三戸地域自立相談窓口等と連携し生活困窮者への就労支援・中間的就労の場の提供を行う。
今年度の受入れはなかった。

(2) 社会福祉法人の社会貢献活動「青森県しあわせネットワーク」参加（青森県社協）

総合相談（トータルサポート）を実施。経済的援助（ライフサポート）の実績はなかった。

(3) 地域住民対象の行事開催

グリーン・ツーリズムや収穫祭の開催を通じて、地域との交流や障害者への理解を深めてもらう機会とした。

(4) 地域行事や取り組みへの協力

まちカフェ（五戸町地域包括支援センター、介護予防と認知症早期発見の活動）に年14回
出店した他、三戸郡老人クラブ連合会芸能発表大会や新郷村福祉大会等でのイベント販売を
行った。また、子どもあそびの広場（五戸町放課後子ども教室推進事業）へ農場の一部
を活動場所として提供した。

3. 理事会・評議員会・監事監査会の開催状況

(1) 監事監査会

開催日時：令和5年5月16日 13:10~14:45

場所：移山寮本館 多目的室

出席監事：三浦啓子、金澤實

出席理事・職員：大西理事長、大西施設長、松山事務長、小泉

重大な指摘事項：なし

(2) 理事会

開催日	出席者数		主な議案等
	理事	監事	
5月29日	5名 (欠1)	2名	[決議事項] 第1号議案 令和4年度事業報告並びに計算関係書類等の承認について 第2号議案 新役員候補者の推薦について 第3号議案 定時評議員会の招集事項について [報告事項] ①理事長職務執行状況の報告について ②その他（利用者ご家族様アンケート集計結果について） ※全て議案通り承認
6月15日	6名	2名	[決議事項] 第1号議案 理事長選出について
11月16日	5名 (欠1)	2名	[決議事項] 第1号議案 令和5年度補正予算案について [報告事項] ①理事長職務執行状況の報告について ②事業中間報告 ③経理中間報告 ④その他 ※全て議案通り承認

3月25日	5名 (欠1)	2名	<p>〔決議事項〕</p> <p>第1号議案 令和5年度補正予算案について</p> <p>第2号議案 令和6年度事業計画案について</p> <p>第3号議案 令和6年度当初予算案について</p> <p>第4号議案 規程類の改正について</p> <p>〔報告事項〕</p> <p>①社会福祉充実残額見込みについて</p> <p>②「福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金」について</p> <p>③規程類の改正報告について</p> <p>④利用者・家族アンケート結果</p> <p>⑤その他</p>
-------	------------	----	---

※全て議案通り承認

(3) 評議員会

開催日	出席者数	主 な 議 案 等
6月15日	評議員5名 (欠2)	<p>〔決議事項〕</p> <p>第1号議案 令和4年度計算書類等の承認について</p> <p>第2号議案 役員選任について</p> <p>〔報告事項〕</p> <p>①令和4年度事業報告について</p>

※全て議案通り承認

4. 施設整備・備品等の購入

月日	件 名	価 格
5/1	社会福祉法人会計システム 2クライアント・固定資産管理システム	1,345,300円
3/22	業務用冷凍冷蔵庫 ホシザキ HRF-120AF3-1(生産活動・食品加工場)	343,200円
12/26	本館厨房・女子トイレ手洗水栓取替並びに厨房シンク混合栓取替工事	124,000円



社会福祉法人会計システム 固定資産管理システム
満喜株式会社 ヒューマンライズ Uni2



業務用冷凍冷蔵庫
ホシザキ HRF-120AF3-1

<その他、10万円以下の主なもの>

品名	月
刈払機 共立 SRE2327G (生産活動用、農場) 1台 39,600円	10月

5. 職員配置 (R6.3月末現在)

区分	職名	常勤	非常勤	常勤換算数	
共同生活ホーム 移山寮	管理者	兼1名		1.0	
	サービス管理責任者	兼1名		1.0	
	世話人		2名	1.0	
多機能型障害福祉 サービス事業所 移山寮	管理者	兼1名		1.0	
	サービス管理責任者	1名		1.0	
	生活 介護	嘱託医師		(1名)	(0.1)
		看護職員		1名	0.3
		生活支援員	1名		1.0
	B 型	職業指導員	4名	6名	7.4
		生活支援員	1名	1名	1.3
		目標工賃達成指導員	1名		1.0
	調理員		2名	1.3	
	送迎担当者		3名	0.9	
事務職員	兼2名		1.0		
相談支援事業所 移山寮	管理者	兼1名		1.0	
	相談支援専門員	1名		1.0	
本部	事務職員	兼2名		1.0	
		12名	15名	18.2	

6. 苦情受付状況

苦情・要望等の受付状況 1件

(内訳)

・利用者様対応に関すること 1件

III. 事業所報告

1. 共同生活ホーム移山寮（共同生活援助）

- ・ 新型コロナウイルス感染防止に取り組み、毎日の検温、アルコール消毒、マスクの着用等の徹底に努め、日常生活を送ることができた。
- ・ 入居者5名のうち1名は、(株)阿部繁孝商店五戸工場へ就職、他の1名は4月から11月まで農事組合法人くらいしへ就職、雇用契約期間満了後は、就労継続支援B型を12月から3月まで利用となる。
- ・ また、利用者本位の視点になった個別支援計画を作成、モニタリングを行い、世話人と連携を取り、食事提供及び生活習慣の支援に努めた。
- ・ 博労町月1回の資源ゴミ回収活動には休むことなく、町内の方と一緒に作業に取り組んだ。

(1) 利用者の利用状況（R6. 3. 31 現在）

定員	利用者数	平均年齢
5名	5名	49歳

※日中活動先：就労継続支援B型3名、一般就労2名（1名は年度途中からB型）

(2) 開所日数と利用状況(R6. 3. 31 現在)

※平均利用者数4.8人/日[前年度比111.6%]

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366日
サービス提供延数 (1日の利用者数合計)	147	151	146	142	145	143	144	139	148	142	139	145	1,731人

※前年度実績・・・サービス提供延数1,569人、開所日365日、平均利用者数4.3人/日

(3) 主な年間行事

入居者会議	5/25、9/13、12/3、2/22
入居者健康診断（五戸町健診センター）	5/10（多機能型と合同）
協力医定期健診	7/10（多機能型と合同）
新型コロナワクチン接種	6/10、11
消防訓練	9/15、12/2
環境整備	なし
自治会のリサイクル活動	4/30、5/28、6/25、7/30、8/27、9/17、10/29、11/26、12/24 以上9回
五戸まつり参加	9/1～3
入居者誕生会	11、1、3月

2. 多機能型障害福祉サービス事業所移山寮（生活介護・就労継続支援B型）

4月からサービス管理責任者が変わったほか、新たに生活介護の生活支援員1名、就労継続支援B型の職業指導員1名を採用、また、年度途中に送迎運転手も2名変わる等、職員体制に変化が見られたが、利用者は落ち着いてそれぞれの活動に取り組むことができた。

利用者の状況は、生活介護利用者1名・B型利用者1名が退所、B型新規登録者が1名いたが年度末に退所、冬季間のみ利用者が1名と多少の出入りがあり、現在の登録者数は36名（生活介護10名、就労継続支援B型26名）となっている。

5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、基本的な感染対策は継続しつつも、グリーン・ツーリズムやバス遠足を開催し、愛の輪レクリエーションへの参加や五戸まつりの見学等、地域の行事にも積極的に参加した。感染症に関しては、毎日の検温と体調確認、マスク着用、咳エチケット、液体石鹸による手洗い、アルコール手指消毒、テーブルや出入口の取手・送迎車両の消毒といった感染対策に取り組んだ。

生活介護では、新聞紙バック作りや余暇支援、服薬管理や金銭確認等をとおして、楽しさを見つけながら、自分の人生を生きていくための支援を行った。利用者の高齢化に伴い機能の低下が見られ、対応や支援が難しくなっているが、引き続き利用者・家庭の状態やニーズに合わせたサービスの提供をしていきたい。

就労継続支援B型では、利用者一人一人の可能性や働く楽しさを見つけ、仕事をしながら自分の人生を生きていくための支援を考慮し、「加工、農場、受託、手芸、カフェ」の5領域の中から得意な仕事を選択することで、利用者の力を生かす環境作りに取り組んできた。今後とも「施設外就労」先との連携を密にし、地域社会とのかかわりを大切にしていきたいと考えている。高齢化や精神不安や生活リズムの乱れにより長期間休んだり、働く意欲の低下が見られたりする利用者もいるが、地域での自立した生活のため、工賃向上の取り組みはますます重要となっており、新たな工賃向上計画に基づき、収益性や生産体制のさらなる改善に向けて、継続的に取り組んでいきたい。

(1) 利用者の状況（R6.3.31現在）

事業	定員	利用者数	平均年齢	住居のある地域
生活介護	10名	10名	63歳	五戸
就労継続支援B型	20名	26名	50歳	五戸、新郷、十和田、八戸

(2) 開所日数と利用状況

<生活介護> ※平均利用者数 7.1 人/日 [前年度比 102.9%]

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数	20	20	22	20	20	20	21	20	20	19	20	20	242 日
サービス提供延数 (1日の利用者数合計)	131	133	145	136	135	123	148	145	161	149	141	148	1,695 人

※前年度実績・・・サービス提供延数 1,630 人、開所日 238 日、平均利用者数 6.9 人/日

<就労継続支援 B 型> ※平均利用者数 18.9 人/日 [前年度比 109.2%]

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数	27	27	29	26	27	24	25	24	24	23	23	25	304 日
サービス提供延数 (1日の利用者数合計)	491	476	543	489	475	460	479	470	474	455	455	475	5,742 人

※前年度実績・・・サービス提供延数 6,054 人、開所日 350 日、平均利用者数 17.3 人/日

(3) 主な年間行事

月	事業所行事等	交流行事・見学等
4月	環境整美 感染症予防啓発・利用者学習会（お金の使い方）	
5月	家族会総会・事業説明会 利用者健康診断 嘱託医健診（生活介護）① 熱中症・食中毒予防啓発	子どもあそびの広場へ活動場所の提供
6月	第三者委員定期訪問・相談日 消防部分訓練（部分）	グリーン・ツーリズム玉ねぎ収穫体験（6名）
7月	家族会バス旅行 協力医健診	五戸中学校職場体験
8月	嘱託医健診（生活介護）②	郡育成会愛の輪レクリエーション参加
9月	第三者委員定期訪問・相談日	五戸まつり見学 川内中学校来所（福祉体験学習）
10月	消防総合訓練② 利用者会議①	切谷内小学校来所 子どもあそびの広場へ活動場所の提供
11月	嘱託医健診（生活介護）③ 移山寮収穫祭 インフルエンザワクチン予防接種	令和5年度障害者地域生活推進研修会（利用者種本奈々さん発表） 切谷内小学校来所・体験学習

12月	第三者定期訪問&相談日③ 利用者会議② 大掃除	マックスバリュ北園店来所（お菓子寄贈）
2月	嘱託医健診（生活介護）④	ふれあいフェスティバル参加 まける市見学
3月	第三者定期訪問&相談日④ 利用者会議③	



↑ 4月 環境美化活動



↑ 7月 家族会バス旅行（蕪島）



↑ 8月 愛の輪レクリエーション（倉石）



↑ 9月 五戸祭り見学



↑ 11月 移山寮収穫祭



↑ 2月 ふれあいフェスティバル

3. 相談支援事業所移山寮（特定相談支援・障害児相談支援）

特定相談支援事業については、待機している新規利用者、精神障害を抱えている利用者が多くいたため、利用者数の適正化を図った。一般就労や介護保険への移行等により既存利用者が減少、待機の新規利用契約の調整を行い、現在、契約者数は120名（前年度▲10名）となり、より利用者様一人一人に寄り添う支援をめざすことができた。

障害児相談支援では、放課後等デイサービスの新規利用1名があった。強度行動障害の特性により支援が難しく、月に1度、関係者で集まり、学校や放課後等デイ、自宅等での対応、実習予定等の情報共有を行った。

<特定相談支援事業>

(1) 契約者数（R6.3.31現在）

120件（五戸町60件、十和田市15件、八戸市21件、七戸町4件、南部町6件、新郷村5件、三戸町5件、田子町1件、おいらせ町2件、階上町1件）

(2) 計画作成状況 ※請求月基準

種類	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
計画作成	25	29	31	20	105
モニタリング	63	80	45	59	247
合計	88	109	76	79	352

<指定障害児相談支援事業>

(1) 契約者数（R6.3.31現在）

5件（五戸町2件、八戸市3件）

(2) 計画作成状況 ※請求月基準

種類	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
計画作成	3	1	1	1	6
モニタリング	1	3	6	4	14
合計	4	4	7	5	20